

取扱説明書



マキロン・ウッドチッパー 【MKW-170 用】



2025 年 6 月版

株式会社 ケイ・エス・エンタープライズ

目次

はじめに 各部の名称	1
安全に作業を行っていただくための注意点	2 - 5
◆ 他の作業機から本機に付け替える際の注意点	
◆ 走行についての注意点	
◆ 粉碎作業時の注意点	
◆ その他の注意点	
本機とトラクターの連結手順	6 - 9
1. ロアーリンクの取り付け調整穴の変更（必要な場合のみ）	
2. スタンドの調整（必要な場合のみ）	
3. 本機とロアーリンクの連結（外側と内側）	
4. 本機と長尺トップリンクの連結	
5. 本機とPTO シャフトの連結	
6. 本機とトラクターの位置と振れ幅の調整	
7. 本機と接地面との角度調整	
保守点検 ①（グリスアップ）	10 - 11
保守点検 ②（粉碎刃、投入口、排出口の点検）	
保守点検 ③（ボルト、ナット、ピン）	
替刃（別売）の交換手順	12
仕様 ご意見、お問い合わせ	13

はじめに

このたびはマキロン・ウッドチップperをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は本機の取り付けや操作、あるいは点検や修理などを行う際に
お役立ていただくものです。

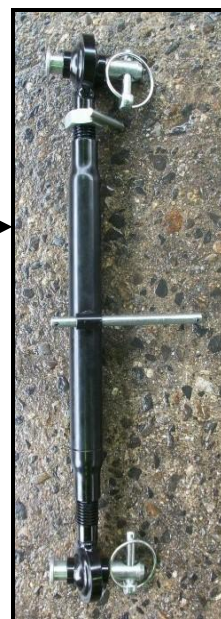
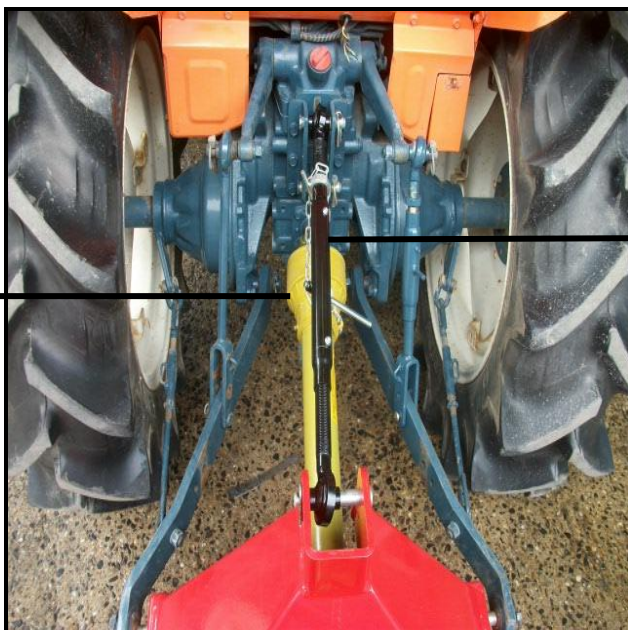
作業の前に内容をよく読んでいただき、お持ちのトラクターや本機を最良の状態に保つように
心がけてください。

品質の性能向上や安全性、その他の理由で本書の内容の一部が実際と一致ない場合があります
ので、あらかじめご了承ください。

各部の名称



PTO シャフト



長尺トップリンク
(別売り)



ローアリンク(左)



本機(ウッドチップper)



ローアリンク(右)

投入口(ホッパー)

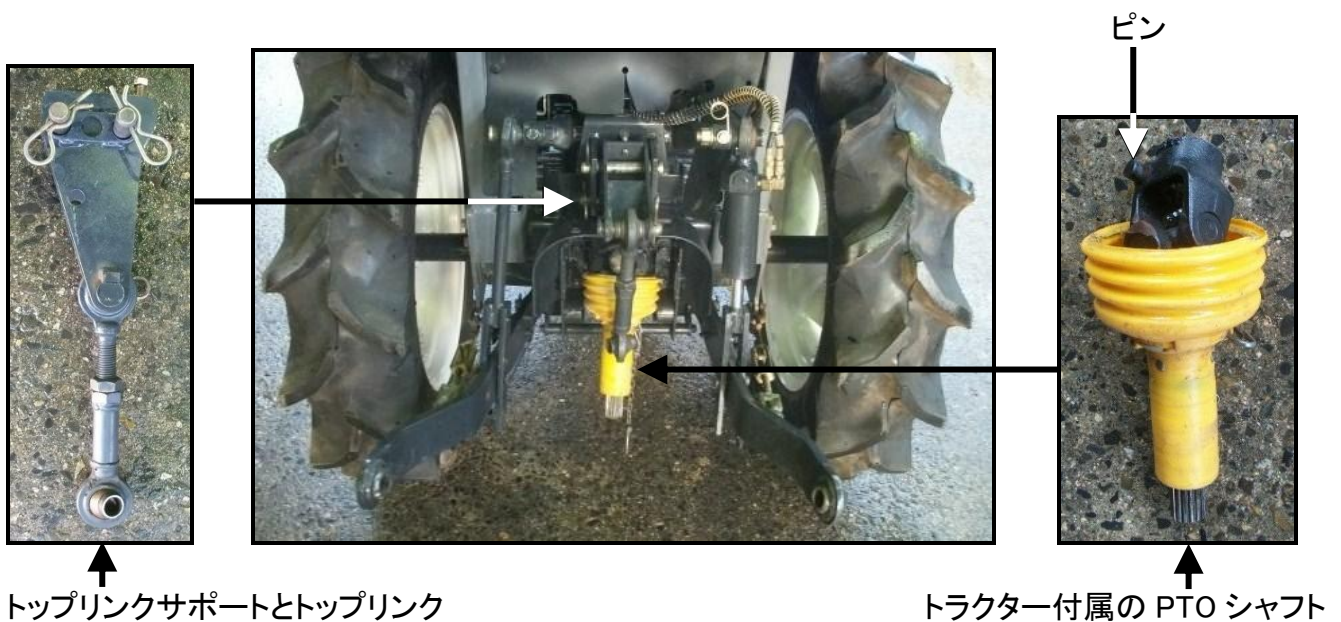
排出口

安全に作業を行っていただくための注意点

◆他の作業機から本機に付け替える際の注意点

ロータリーなど他の作業機から本機に付け替える際は、作業機本体の他に、トラクターに取り付けられているトップリnkサポートとトップリnk、そして PTO シャフトも同時に取り外しておいてください。

*トラクターの PTO 軸から PTO シャフトを取り外す際は、根元に付いているピンの頭部を押しながら引き抜いてください。



本機に使用するトップリnkは、必ず **55cm 程度の長尺トップリnk**を使用してください。
元からトラクターに付いているトップリnkサポートとトップリnkの組み合わせでは、作業機の上昇時に PTO シャフトと接触して破損する場合があります。

＜トップリnkサポートを外せない機種の場合＞

本機を持ち上げた時に、トップリnkサポートと PTO シャフトが接触して破損する場合がありますので、以下のような設定や、操作を行ってください。

- * 上げ過ぎないように、作業機昇降レバーのストッパーで上限位置を設定してください。
- * 高さ調整ダイヤルが付いている場合も、上げ過ぎないように、上限位置を設定してください。
- * 作業機昇降レバーのストッパーや高さ調整ダイヤルが付いていない場合は、トップリnkと PTO シャフトの間隔を確認しながら、慎重に上げ下げを行ってください。
- * バックアップ機能が付いている場合は、「切」にしてください。

＜オートヒッチが付いている場合＞

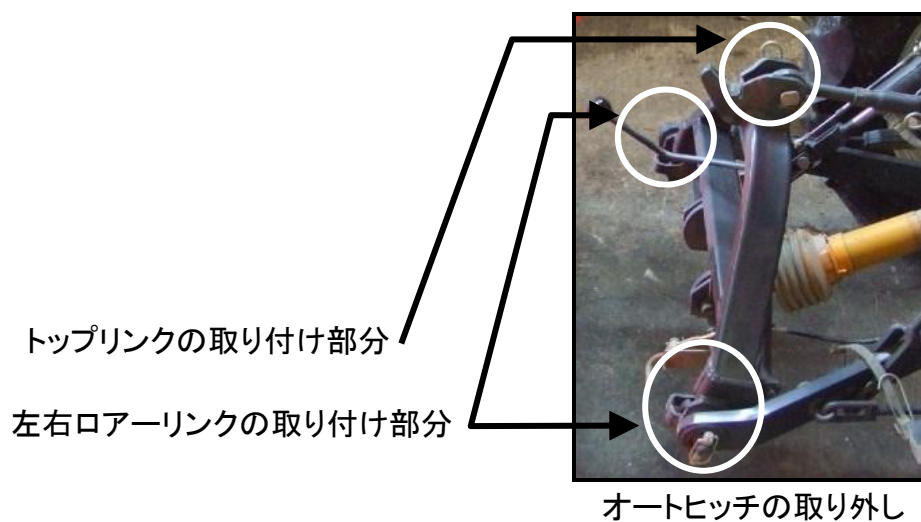
ロータリーをワンタッチで脱着できるオートヒッチの類が取り付けられている場合は、本機を取り付ける前に、取り外しておいてください。

＜各種オートヒッチの例＞



＜オートヒッチの取り外し方＞

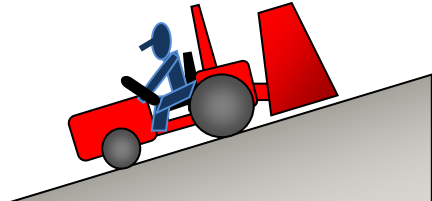
オートヒッチはトラクター付属のトップリンクと左右ロアーリンクの取り付け部分の切り離しによって取り外すことができます。



◆走行についての注意点

* 粉砕作業時以外の通常走行において、本機を高い位置に上げた状態で急発進や高速走行をすると、前輪が大きく浮き上がり、大変危険です。
本機を地面から軽く浮かせる程度に保ち、副変速を中速以下に設定して、急発進や高速走行は決してしないでください。

* トラックへの積み込みや圃場への入出など急勾配での走行は、右図のように常に前輪が坂下になるようにしてください。



* 一時作業機上昇機能(ボンパ)は使用しないで、手動で上げ下げを行ってください。

* 粉砕作業時はトラクターの種類により若干の違いがありますが、PTO は1速(低速)に設定し、エンジンは2200回転程度に調整してください。
540rpm以上で使用すると機械の損傷につながります。

* 二輪駆動に本機を取り付ける場合は、安全な重心バランスを保つためにフロントバンパーウエイトの装着をおすすめします。

◆粉砕作業時の注意点

竹の粉砕は適しておりません。

回転部分には近づいたり手を触れたり、絶対にしないでください。

エンジン作動する前にホッパーの中に何も入っていないか、近くに人がいないかの確認を絶対に行ってください。

作業は本機を地面に降ろしブレーキをしっかりとかけ、転がり防止のためにタイヤ止めをして作業してください。

作業時は付属の保護メガネと革手袋をつけて作業してください。

粉砕中は、木片などが飛び散ることがありますので周りに人を近づけないようにしてください。

金属等は絶対に入れないでください。

一度に沢山の木材を入れますと目詰まりの原因になりますので、一本一本確実に粉砕してください。

◆その他の注意点

作業中の振動により、ボルトがゆるんだり、外れたりすることがあります。
作業前、あるいは作業終了後は、点検や増し締め作業を行ってください。

本機の上に乗ったり、本機とトラクターの間に入らないようにしてください。

安全カバーは、必ず取り付けてから作業を行ってください。

メンテナンス作業等をされる場合は、PTO を中立にし、エンジンを切った状態にして下さい。

機械に巻き込まれないように活動的な服装をしてください。

下記部品も販売しております。ご希望の場合はお問合せ下さい。

・長尺トップリンク

[ウッドチップパーMKW-170 用 消耗品]

・替刃(1 枚)

・替刃セット(4 枚/1 組)

* その他の部品もございますので、お気軽にお問い合わせください。
(バンパーウエイト(20kg ・ 30kg)等 も販売させて頂いております。

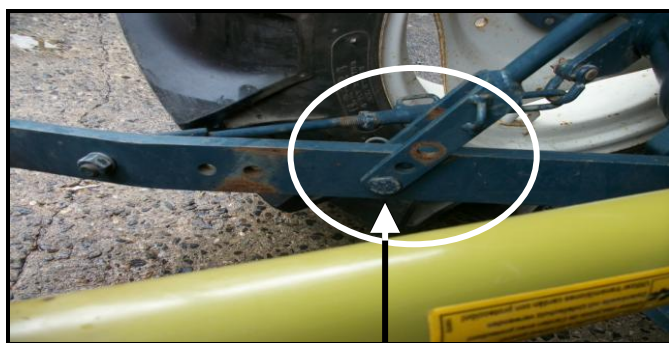
株式会社 ケイ・エス・エンタープライズ
電話番号 0120-611-567

本機とトラクターの連結手順

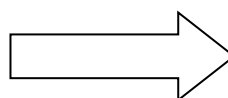
1. ロアーリンクの取り付け調整穴の変更（必要な場合のみ）

ロアーリンク先端の取り付け部分が、本機の取り付け部分に届かない場合、調節穴は最下限、最前位置を選択してください。

本機から再び元の作業機に戻す場合は、調節穴も元の調節穴の位置を記録しておくことをお勧めします。



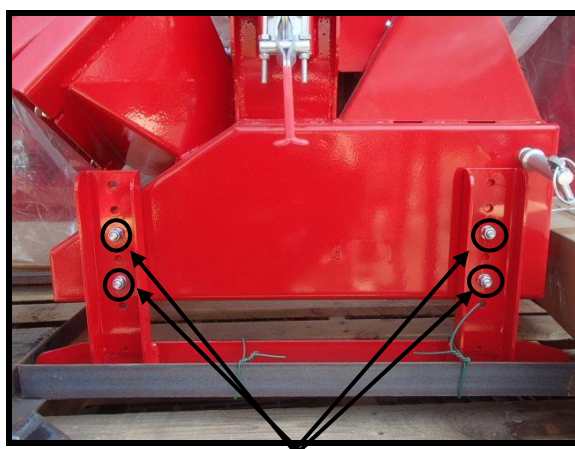
調節穴の位置



進行方向

2. スタンドの調整（必要な場合のみ）

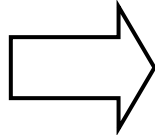
取り付けしている位置を変える事で全体の高さを調整する事が出来ます。取り付け部は右4本、左4本の計8本のボルトで固定しています。



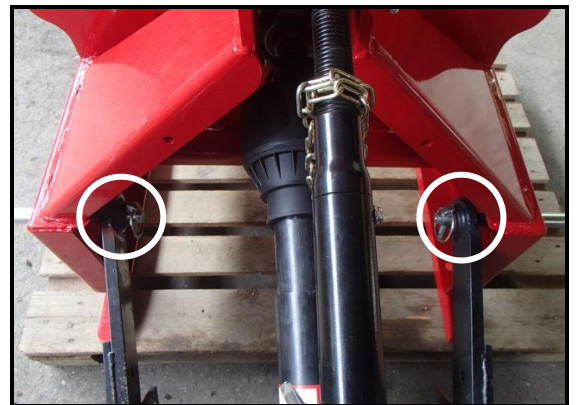
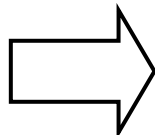
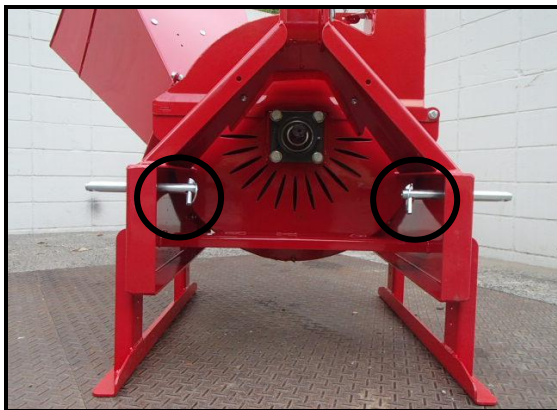
【ボルト】

3. 本機とロアーリンクの連結（外側と内側）

本機にトラクター付属の左右ロアーリンクを連結させてください。
トラクターの種類によって取り付け位置が、異なります。タイヤにロアーリンクやチェックチェーンが
接触しない様に、外側か内側を選んで取り付けして下さい。



【外側に取り付ける場合】



【内側に取り付ける場合】

4. 本機と長尺トップリнкの連結

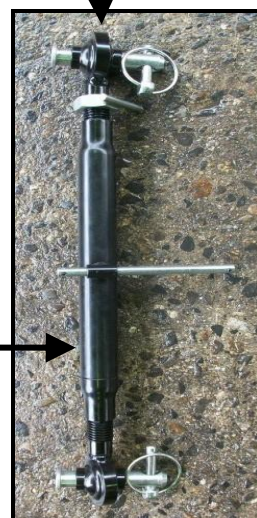
本機とトラクターを長尺トップリнкで連結させてください。
長尺トップリнкは、ロックナットが取り付け部分に近い方をトラクター側に取り付けてください。



トラクター側の取り付け穴の位置は、一番上が理想的です。

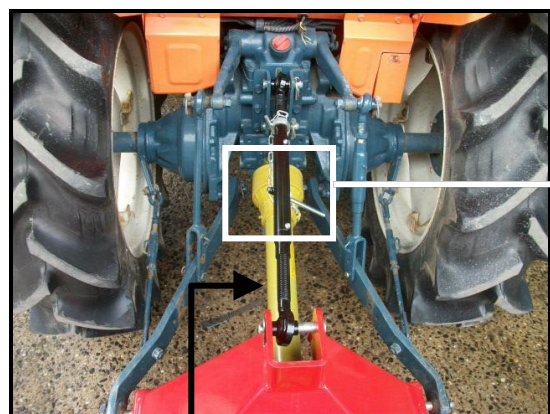
長尺トップリнк

こちら側をトラクターに取り付けて下さい。



5. 本機と PTO シャフトの連結

本機とトラクターを PTO シャフトで連結させてください。
PTO シャフトをトラクターの PTO 軸と本機の駆動軸に連結する際は、ピンの頭部を押しながら差し込みます。



PTO シャフト



PTO シャフト(部分)

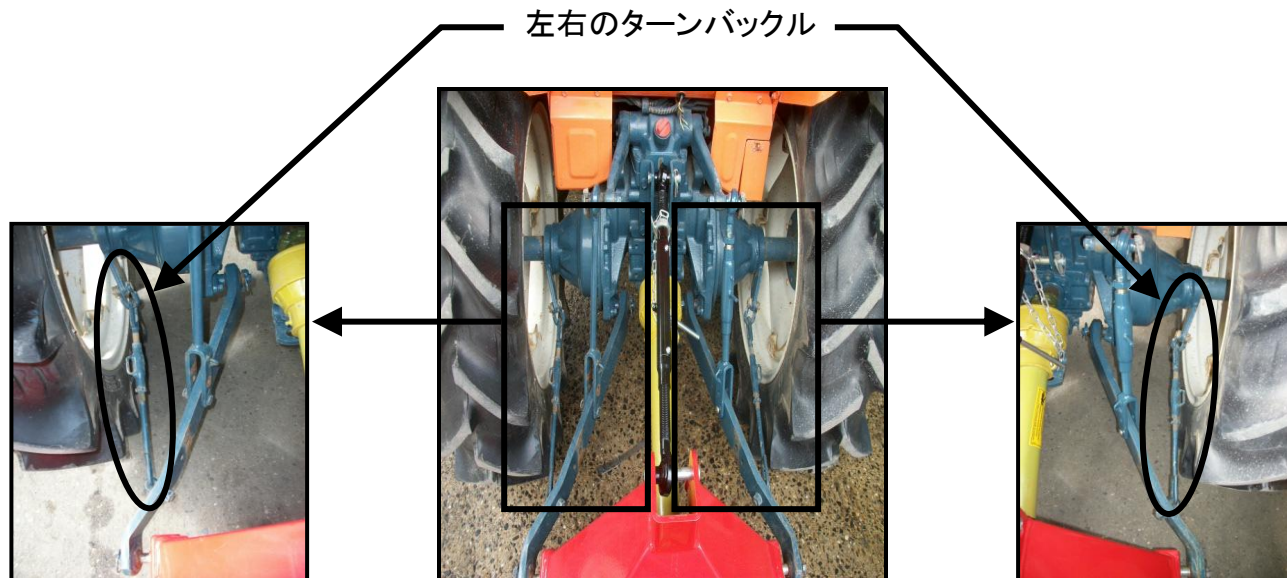
重要！ PTO シャフトの連結方法

PTO シャフトをトラクターの PTO 軸や本機の駆動軸に連結する際は、PTO シャフトの先端付近に付いているピンが溝に到達した時に出る「カチッ」という音や、ピンが飛び出すのを確認してください。

さらに PTO シャフトを前後に動かして、簡単に抜けないかどうかの確認作業を行ってください。これらの作業を怠ると、PTO シャフトが作業中に抜けて、重大な事故を引き起こす可能性があります。

6. 本機とトラクターの位置と振れ幅の調整

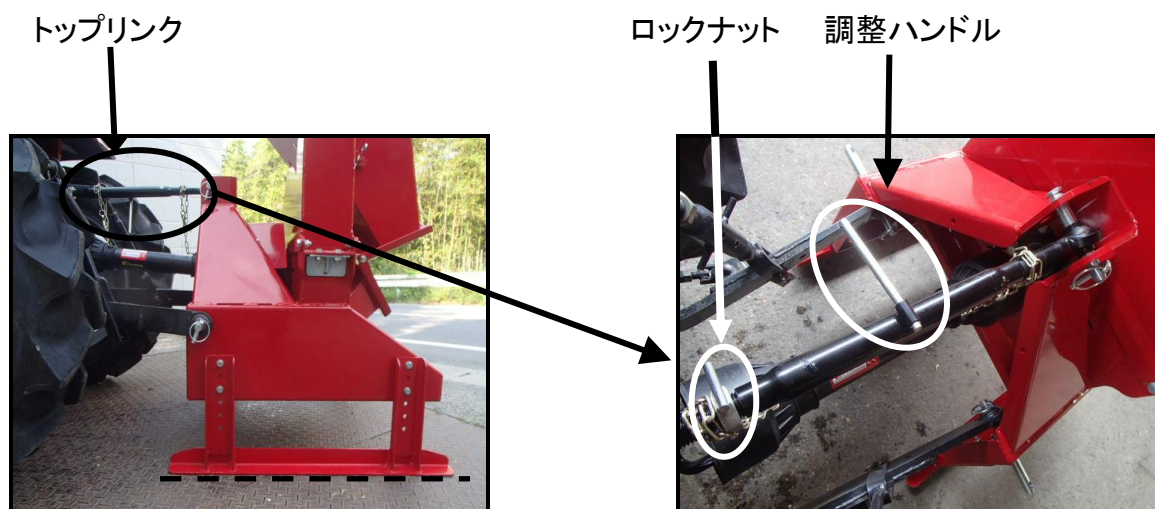
- * 本機を持ち上げた時、トラクターの左右のタイヤを結ぶラインと本機が平行になるように、ロアーリンクに付いている左右のターンバックルで調整してください
- * トラクターの PTO 軸と PTO シャフトが一直線になるように、ターンバックルで調整してください。
(PTO シャフトはトップリンクと平行にならなくても問題はありません。)
- * 本機の振れ幅が 10mm 以下になるように、ターンバックルで調整してください。
- * 振れ幅が調整しきれない場合は、走行時ロアリンクとタイヤが接触しないように注意して下さい。



7. 本機と接地面との角度調整

トップリンクの長さを調整して、本機の下部のラインが地面と平行になるように、調整してください。

- * トップリンクの長さの調整は、ロックナットをゆるめてから、調整ハンドルを回して行います。
調整が終了したら、ロックナットを締め直してください。



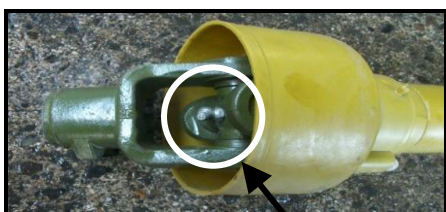
保守点検 ①(グリスアップ)

* グリスアップは、本機の使用、10 時間毎に行ってください。(グリスガンで 3～5 回の注油を行ってください)

* グリスの注油箇所は本体に 2 箇所、PTO シャフトに4箇所あります。

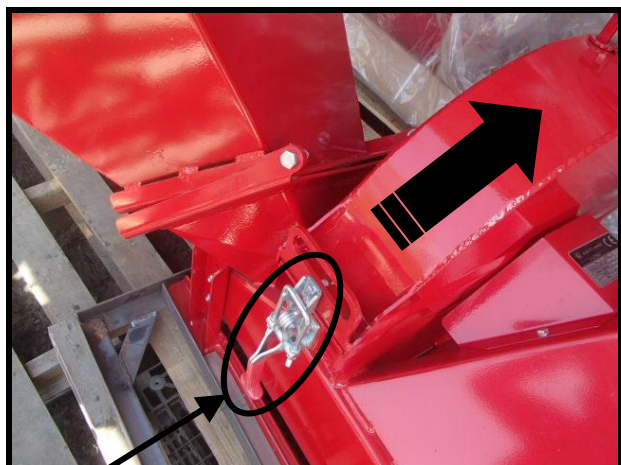


本体のグリスアップ



PTO シャフトのグリス注入箇所

保守点検②(粉碎刃、投入口、排出口の点検)



ロックを外し、矢印の方向に保護カバーを開けて下さい。



目詰まり、ボルトのゆるみがないか点検して下さい。



投入口(ホッパー)



排出口

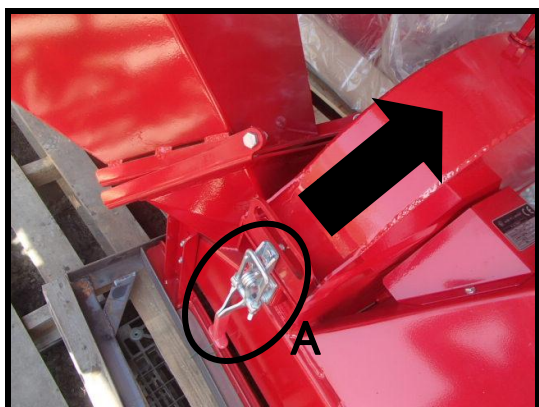
保守点検③(ボルト、ナット、ピン)

- * ボルト、ナット、ピンは作業中の振動により、脱落したり、摩耗したりします。
定期的に点検を行ってください。
- * 安全で効率的な作業を行うために、粉碎刃の摩耗具合や、その取り付けボルトやナットの点検は頻繁に行ってください。

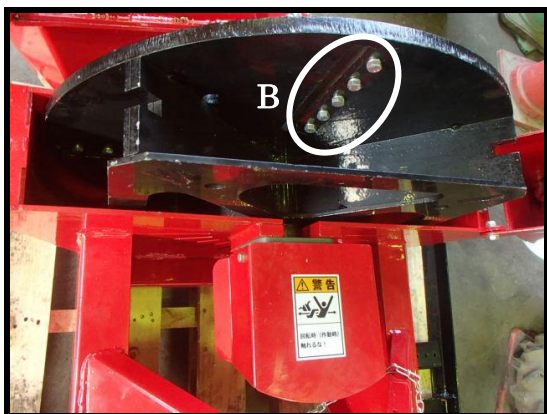
替刃(別売)の交換手順

※替刃を交換する際は、トラクターのエンジンを停止して、作業機を地面に降ろした状態で作業して下さい。

1. A のロックを外し、矢印の方向に保護カバーを開いて下さい。



2. B のボルト5本を外して、新しい刃に交換して下さい。(刃は両面使用出来ます)
刃は全部で対角線上に4枚あります。ボルトの締め忘れがあると、故障の原因になりますので、ボルトの緩みが無いか最後に確認して下さい。(緩み防止液等のご使用をお勧めします。)



注) 刃の向きを間違えるとカット出来なくなりますので、1つ1つ確実に交換して下さい。

3. 交換が完了しましたら、保護カバーを閉めボルトをしっかりと取り付けて下さい。

仕様

モデル		MKW-170
寸法(mm)	作業時	全長 1,800 × 全幅 1,800 × 全高 1,920～2,030 (スタンドで高さを調節できます)
	折りたたみ時	全長 1,150 × 全幅 1,000 × 全高 1,920 (スタンドで最も低い位置に設定した場合)
本体重量		355kg
駆動方式		トラクターPTO
PTO 回転速度		540rpm
トラクター適応馬力		30 馬力以上
粉碎方式		カッターディスク
回転回数		4
最大処理径		170mm
供給方式		自重自然送り
排出方式		遠心方出

ご意見、お問い合わせ

本機についてのご意見やお問い合わせがございましたら、下記の所までご連絡ください。

株式会社 ケイ・エス・エンタープライズ
 整備センター 〒518-1152 三重県伊賀市予野 1534
 事務所 〒604-8841 京都市中京区壬生東土居ノ内町 17 番地 5
 TEL 0120-611-567
 E-mail info@chuko-noki.com